



3 アルミ缶回収とユニセフ募金活動

報告者 福岡県朝倉郡東峰村立宝珠山小学校 梶原 由紀子先生

ポイント

本校では、5・6年生による委員会活動を行い、自分たちの学校生活を向上発展させ、より豊かにしていくために、児童の発想を生かし、創意工夫した活動を行っています。その中の環境・奉仕委員会の子ども達は、ユニセフの本やユニセフ活動事例集を読む中で、「世界中には、自分たちには考えられないような苦しい生活をしている子ども達がいる」ということに気づき、2年前からアルミ缶の回収金をユニセフにおくるという活動を行ってきました。

また、ユニセフにおくったお金がどのようなことに使われているかを全校児童に紹介することで、より多くのアルミ缶を学校に持ってきてもらい、少しでも多くのお金をユニセフに送ろうと、「アルミ缶集会」を開きました。

活動計画

- 4月・・・アルミ缶回収の計画、アルミ缶集会の内容の検討
- 5月～ 毎月1回のアルミ缶回収
- 11月・・・アルミ缶集会開催
- 1月・・・回収金をユニセフにおくる

活動の実際

(1) アルミ缶回収の計画、アルミ缶集会の内容の検討

4月に環境・奉仕委員会で、今年度のアルミ缶集会の計画と11月に行うアルミ缶集会の内容の検討を行いました。

はじめに、アルミ缶をたくさん持ってきてもらおうと、全校児童に呼びかけるチラシ作りを行い、全学級に配布しました。その中で、環境・奉仕委員会の子ども達は、「ユニセフにおくったお金がどのように役に立っているのかを全校のみんなに紹介することで、アルミ缶の回収に協力してくれる人が多くなるのではないかと考え、アルミ缶集会でユニセフの活動を紹介しようと計画を立てました。

(2) 毎月1回のアルミ缶回収

毎月、チラシを全校児童に配り、回収日を事前に知らせています。回収日の朝は、登校中にスーパーの袋や大きなビニール袋にアルミ缶を持ってくる子の姿でいっぱいです。中には、学校まで自動車を持ってこられる地域の方もいます。そのアルミ缶を、昼休みに業者の回収袋に数を数えながら入れます。翌日、お昼の放送で、「5月は〇〇〇個のアルミ缶が集まりました。ご協力、ありがとうございます。」と活動報告をします。



全校児童に配布したチラシ



月に一度のアルミ缶回収の様子

(3) アルミ缶集会

1月にアルミ缶集会を開き、全校児童に、アルミ缶を回収したお金をユニセフにおくることで、どのように役立っているかを紹介しました。



世界には、栄養が足りない子、きれいな水が飲めない子、学校にいけない子、戦争に巻き込まれる子など、苦しい生活をしている子がたくさんいます。



アルミ缶を32個売ったお金で、伝染病をなおす注射を1回うつことができます。アルミ缶4個で、体を元気にするビタミンのカプセルが1個買えます。



今まで、アルミ缶がどのような役に立っているか知らなかったけど、ユニセフに寄付することで、たくさん子ども達の役に立っていることを初めて知りました。

(4) 回収金をユニセフにおくる



回収金をユニセフに

1月に、環境・奉仕委員会の子ども達は、アルミ缶回収で集まったお金をユニセフにおくるために、郵便局に行きました。

また、掲示板にアルミ缶集会で使った資料を掲示し、全校児童にアルミ缶回収へのさらなる協力を呼びかけています。



アルミ缶集会で使った資料

ユニセフにおくった手紙から

ユニセフのみなさまへ

ぼくたちは、1ヶ月に1回、全校によびかけてアルミ缶を集めています。そのアルミ缶をリサイクル回収の業者の方に売って、お金にかえています。ぼくは、何人もの子ども達がきれいな水が飲めないこと、学校にもいけずに働いていることなどを知り、とても悲しくなりました。ぼくたちが集めたお金を、少しでも世界中の苦しんでいる子ども達の役に立ててください。

環境・奉仕委員会 6年児童

感想

このような活動を続けていく中で、子ども達の目が少しでも回りに向き、「自分にできることはないか」と考えることができるようになってほしいと願っています。